

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 30. 5. 16 第 196 回国会第 15 号

5 月 16 日（水）、第 15 回の委員会が開かれました。

1 連合審査会開会申入れに関する件

- ・環太平洋パートナーシップ協定の締結に伴う関係法律の整備に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 62 号）について、内閣委員会に連合審査会の開会を申し入れることに協議決定しました。

2 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・齋藤農林水産大臣、磯崎農林水産副大臣、武藤経済産業副大臣、長坂内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

神谷裕君（立憲）

- ・東北農政局の現役職員が東日本大震災の復興事業をめぐる入札情報を漏洩していたとされる報道の事実関係について伺いたい。
- ・T P P 11 協定交渉においては、米国は新規加盟国の扱いとなり、再度 11 개국それぞれとの交渉が必要となることを確認したい。
- ・農林水産大臣は、平成 25 年 4 月の農林水産委員会における環太平洋パートナーシップ（T P P）協定交渉参加に関する決議を尊重し、日米間の協議においても重要 5 品目を絶対にと守るとの決意を表明すべきではないか。

石川香織君（立憲）

- ・国立研究開発法人森林研究・整備機構等の施設の老朽化の現状について、どのように受け止めているか。
- ・T P P 協定の我が国農業への影響及びその対策について改めて伺いたい。
- ・輪作体系に位置付けられる十勝産小豆の在庫減少にどのように対応していくのか。

緑川貴士君（国民）

- ・豪雪と関連するネズミによる農作物被害について、政府はどのように対応するのか。
- ・長期的な視点に立った適切な森林整備について、農林水産大臣の意気込みを伺いたい。
- ・プランテーション開発による熱帯雨林の破壊により C O 2 排出量が増加につながるとされているパーム油をバイオマス発電に使用されるのは本末転倒ではないか。

大串博志君（無会）

- ・ため池の長寿命化や維持管理について、国が率先して対応すべきではないか。
- ・井堰の老朽化にどのように対応していくのか。
- ・新規就農者に対する支援について、親元就農でも支援対象となる場合があることを更に周知すべきではないか。

稲田朋美君（自民）

- ・我が国における海面トラウトサーモン養殖における種苗確保の現状と今後の対応について伺いたい。
- ・トラウトサーモン養殖に係るワクチン使用の現状と政府の認識について伺いたい。
- ・水産業の成長産業化に向け、養殖業の振興にオールジャパンで取り組むことについての農林水産副大臣の決意を伺いたい。

江田康幸君（公明）

- ・我が国の捕鯨に対する基本的な考え方と鯨類科学調査実施の意義について伺いたい。
- ・老朽化した調査母船の代船建造についてどのように進めようとしているのか。
- ・消費者の鯨肉への理解・関心の深化、消費拡大に向けたような取組を行っているのか。

田村貴昭君（共産）

- ・林野庁が新たに作成した資料において経営管理が不十分であるとする森林はどのくらいあるのか。
- ・森林の集積・集約化とはどのような基準で判断されているのか。

- ・林野庁作成資料の撤回と森林経営管理法案の審議をやり直すことに対する農林水産大臣の見解を伺いたい。

森夏枝君（維新）

- ・TPP11 協定の発効を急ぐことの意義について伺いた

い。

- ・今後の農業の構造改革に関する認識について伺いたい。
- ・平成 31 年度にジビエ利用量を倍増させるとする目標の達成に向け、どのような取組を行っているのか。

3 卸売市場法及び食品流通構造改善促進法の一部を改正する法律案（内閣提出第 40 号）

- ・齋藤農林水産大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。